

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年10月12日
枚方市立五常小学校

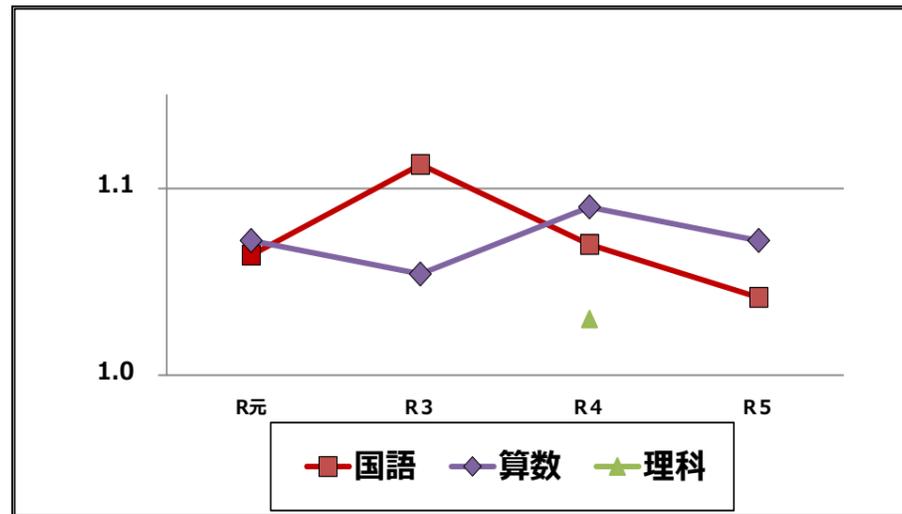
文部科学省が今年4月に実施した、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。



※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、理科は令和元年、令和3年度、令和5年度未実施の為、掲載していません。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、学習した漢字を文章の中で正しく使うことや、日常よく使われる敬語などは、おおむねできている。
一方、情報と情報との関係について理解することや、複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

○算数について

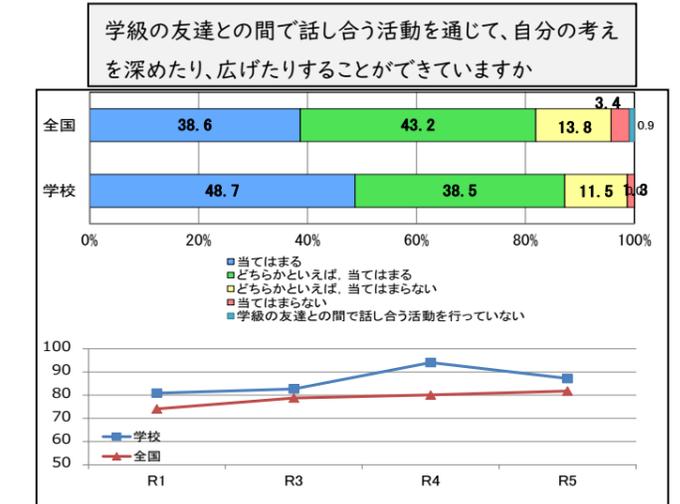
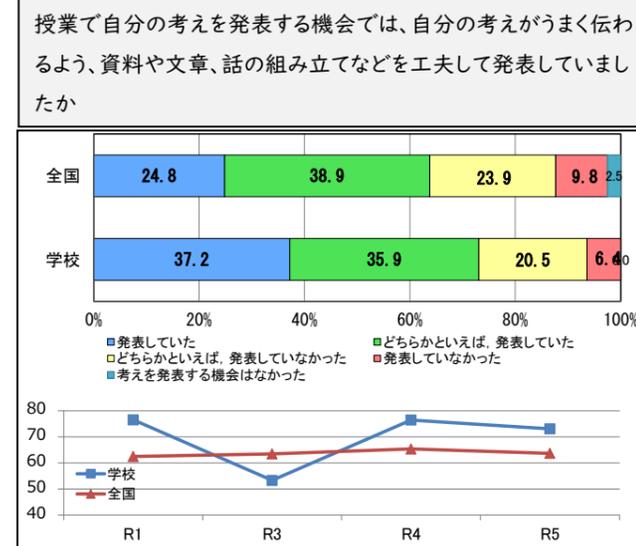
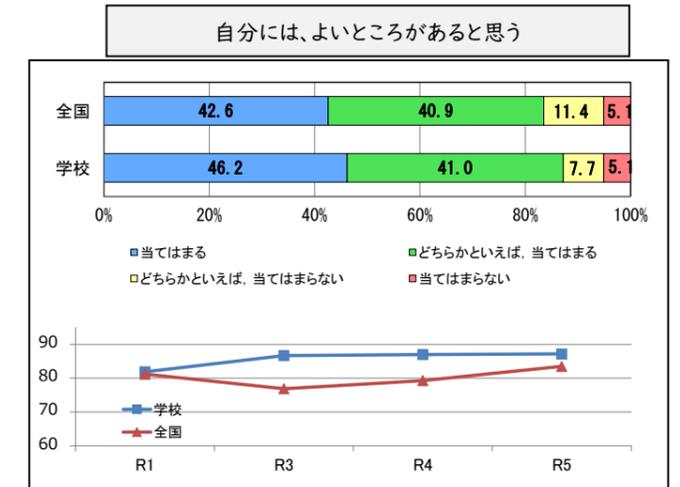
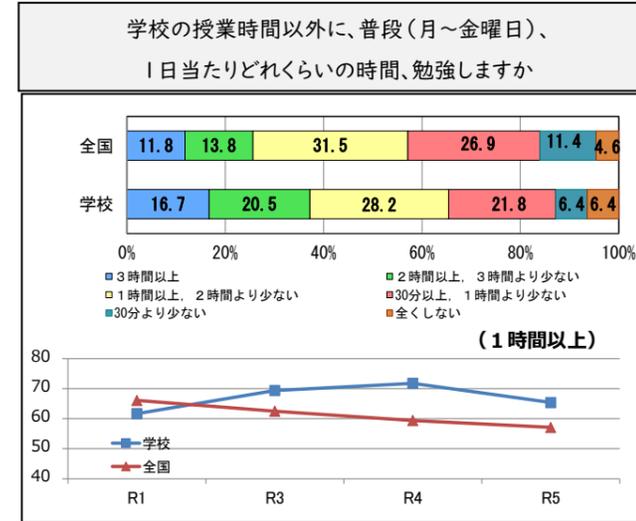
→ 「変化と関係」領域は、おおむねできている。特に、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ることはできている。
一方、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や計量について考察することや、問題解決の過程や結果を振り返って考察することに課題がある。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国
■ 本校



<質問紙調査結果の概要>

質問紙調査で上記4項目については、全国平均やこれまでの本校の結果と比較して、よい傾向が見られました。本年度の本校校内研究では、「根拠を持って話し、質の高い聞き方を通して、新たな発見ができる子どもの育成」の取り組みを、これまでの国語から他教科に広げ取り組んでいます。自分の考えをうまく伝える工夫や、話し合いの場での考えを深めたり広げたりすることについて、肯定的な回答が多く、成果が継続して出ていることがわかりました。

まとめ

本調査結果から、本校児童の平均正答率は全国平均と比較して、上回る結果となりました。また、質問紙においても、おおむね肯定的な回答の割合が高い結果となりました。児童が社会においてよりよく生きていくために、自信を持って生き、自己と他者を尊重する大切さを学び、仲間と共に成長できることを目指し、これからも授業改善を進めてまいります。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

話すこと・聞くこと

谷さんが、部活のように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 相手の活動の手立てを、より具体的に知るため。
- 相手の話の内容を、より具体的に知るため。
- 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
- 自分の行動が可能なかどうかを相手に確かめるため。

山本さんから、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。明で出会った保護者の方が、「いつもありがとうございます」と言ってくれたこともあり、やりがいを感じています。

ア やりがいというのは、ボランティアをやっている中で、いろいろなことごとく周りますが、合っています。

山本さん はい、そのとおりです。ボランティアをやっていると、本音がよく伝わってきます。子供たちの安全を守るために、夜に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん なるほど、そうなのですね。

寺田さん 私は子供たちが安全に遊んでいる様子を見ることができたり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見るときには、さらにうれし気持ちになります。ボランティアをやっていてよかったと思います。

谷さん イズりなるといふのは、どのようなことですか。

寺田さん 一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれし気持ちになります。

谷さん そんなふうに乗っていただけで、私もうれしいです。

寺田さん はい、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

	正答率	無解答率
本校	83.5	2.5
全国	74.0	4.1

【考察】
学校ボランティアにインタビューをしている谷さんが、下線部イのように質問した理由を選ぶ問題では、正答している割合が高い。このことから、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめるなどの学習活動を充実させることが重要であると考えられる。

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】

数と計算

国語辞典と漢字辞典に分けて並べたと考えます。

一人分ずつ並べたと考えることもできます。

【わかさんの式】
 $5 \times 28 + 4 \times 28$

【あきさんの式】
 $(5 + 4) \times 28$

ア 国語辞典 28 冊を並べた長さ
イ 漢字辞典 28 冊を並べた長さ
ウ 国語辞典 1 冊と漢字辞典 1 冊の厚さを合わせた長さ
エ 国語辞典 28 冊と漢字辞典 28 冊を並べた長さ

	正答率	無解答率
本校	73.4	2.5
全国	70.3	1.4

【考察】
厚さ 5cm の国語辞典と厚さ 4cm の漢字辞典を、学級の人数(28 人)分並べた長さを表す式が2つあり、その式が表しているものをそれぞれ1つずつ選ぶ問題では、比較的正答率が高い。()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることはできている。また、日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。

【課題】

書くこと

【川村さんの文章】
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにえさを撒きました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アマガエルに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。つきさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

このようなことに取り組む、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【条件】
○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ【農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量】と「カード④」のそれぞれから分かることを書けました。
○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書けました。
○ 六十文字以上、百字以内にとらえて書くこと。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたも川村さんと同じように書きますが、あじの条件に合わせて書きましょう。
二 学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたも川村さんと同じように書きますが、あじの条件に合わせて書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	26.6	8.9
全国	26.7	7.1

【考察】
【川村さんの文章】に、【条件】に合わせて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書く問題では、正答率が低く、無回答率が高い。グラフから分かる学校の米作りの問題点を書いていなかったり、【カード④】から分かることを書いていなかったり、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げていないために誤答となっていることから、グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。

【課題】

図形

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような④と⑤の2つの三角形をつくります。

上の④と⑤の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ④の面積のほうが大きい。
- ⑤の面積のほうが大きい。
- ④と⑤の面積は等しい。
- ④と⑤の面積は、このままでは比べることができない。

	正答率	無解答率
本校	21.5	3.8
全国	20.8	4.0

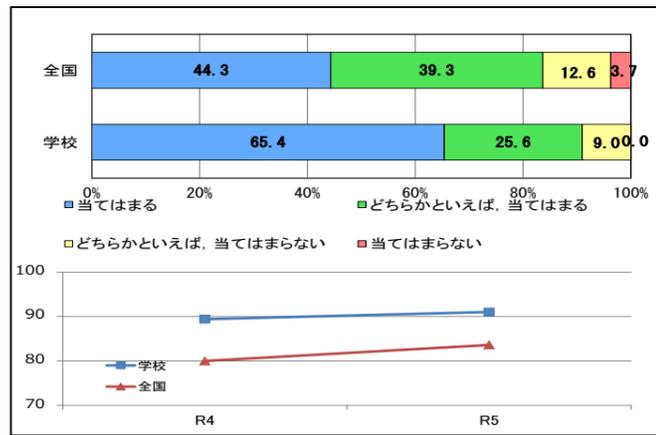
【考察】
テープを直線で切ってつくった2つの三角形の面積の大きさを判断し、その理由を説明する問題では、正答率が低い。正方形の意味や性質について理解することはできているが、高さについて具体的な長さが示されていないことを記述し、このままでは比べることができないと判断している誤答が 19% を占めていた。高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大きさを判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題があると考えられる。

質問紙に関する調査

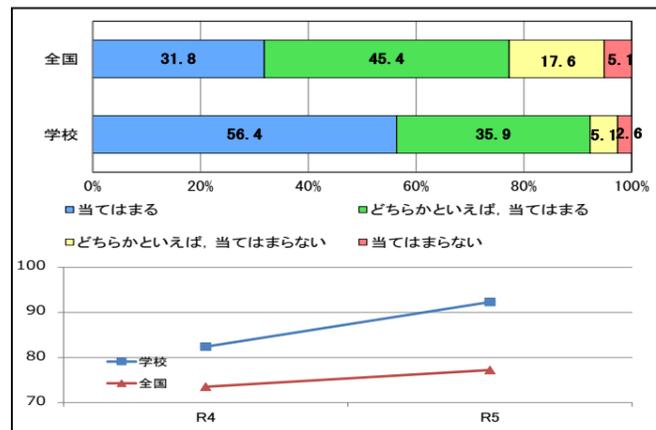
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

【成果のあった項目】

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

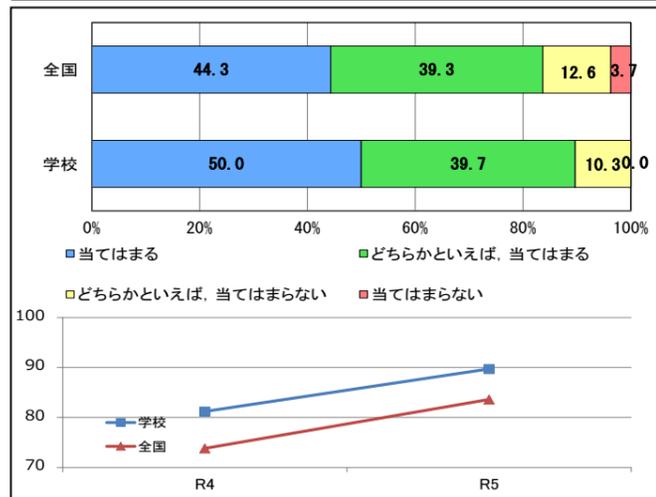


あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



▲ 全国
■ 本校

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



(考察)

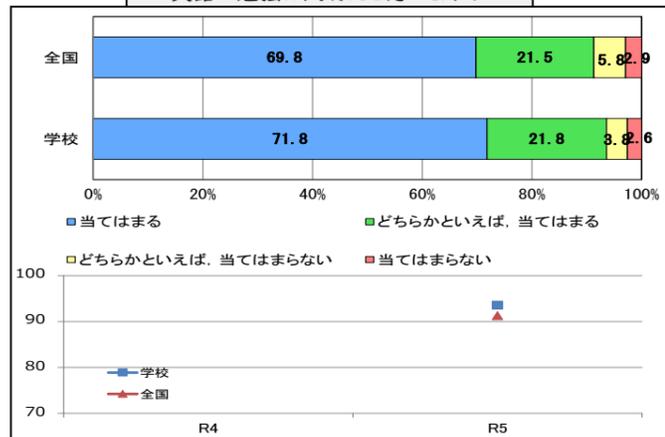
本校では、児童が社会でよりよく生きていくため、自他を尊重し、他者との対話の中から、自ら考え判断し、自ら決定し望ましい行動ができる児童を育てることを重点目標の一柱としています。

授業の中で、自分の考えを深めたり、グループでの話し合いの中で互いの意見の良さを生かしたり、これからすべきことを決定したりする項目において、肯定的回答が全国平均を上回っています。

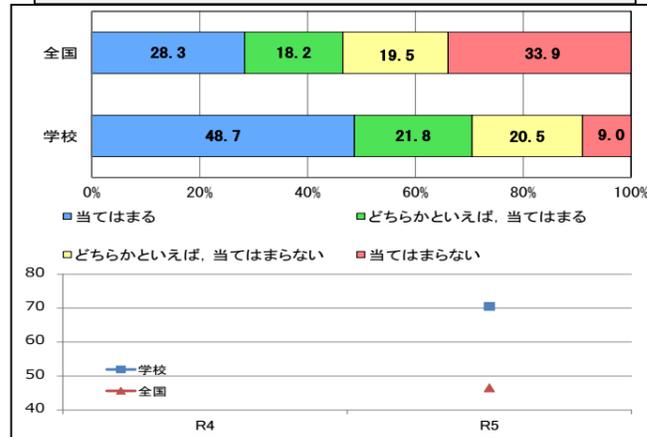
これまで続けてきた校内研究の蓄積を生かした授業を進めていくとともに、自分の考えを生かせるクラス、学校づくりに取り組んでまいります。

【課題が残った項目】

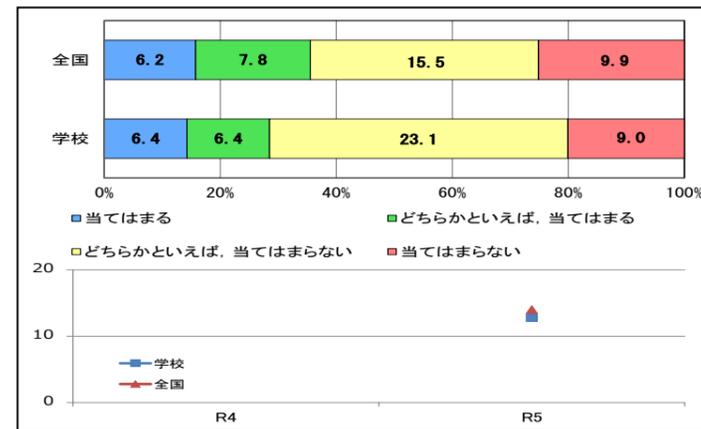
英語の勉強は大切だと思いますか



これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか



家庭学習の課題(宿題)として、どの程度 PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声の聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか



※R4年度の英語に関する質問は実施されていないため、折れ線グラフには表示されていません

(考察)

本校の6年生は、おおむね英語が好きな児童(70.5%)が多いです。調査結果からも、6年生は英語がこれからの社会で求められる技能の一つとして感じていることがわかります。

1学期の校外学習で奈良を訪れた際、同じく奈良に来ていた外国人に話しかけ、積極的にコミュニケーションをとる児童も見受けられました。

一方、英語を苦手としている児童も一定数います。また、言語習得には、音声を聞き、使うことが必要です。左記結果から全国平均も20%を下回る項目となっています-[]。ICTを活用し、発話力(音声)に着目した指導を重ねていきます。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

本調査結果から、多くの児童において定着しきれていなかったものに関して復習してまいります。また、来年度以降、児童のつまずきやすい項目として、各学年の教育計画に盛り込んでまいります。

本校ではこれまで、国語を中心とした研究を行ってきました。その成果を他教科にも活かし、質の高い話し方や聞き方の指導を継続します。

昨年度より朝学習(オビタイム)の時間に、音読、漢字・計算の反復学習を継続しており、基礎基本力の向上を目指します。

ICTの活用では、教育コンテンツを有効に活用することで、児童が自律的に学べる環境を整えます。

(2) 家庭学習について

家庭学習においては、朝学習(オビタイム)と連動し、児童が自ら見通しを持って主体的に取り組めるよう、内容や分量に幅を持たせ、個別最適化された学習を行います。また、教育効果の高いと言われるICT機器の視聴覚教材(NHK for School、navima、Units of Soundなど)を活用することで、自分のペースで何度でも復習することができるようになります。